

第6回フィールド試験

中日新聞 (2017年4月13日)

橋の点検にドローン

各務原 岐阜大など実地試験

橋の点検などに小型などの機器を活用するた
無人機「ドローン」なめ、技術の有効性を確



点検するため、橋のす
き間に入るドローン＝
各務原市上中屋町で

認する実地試験が十二
日、各務原市の木曾川
に架かる各務原大橋で
あった。開発を進めて
いる五社が、先端技術
を使ったドローンなど
で橋の点検を実演し
た。

岐阜大の専門チーム
が主催し、大学や各務
原市、企業の担当者ら
八十人が参加した。ド
ローンには録画用カメ
ラや、橋の支柱の表面
をたたいて振動音で強
度を調べる打音機械な
どを搭載。目で点検す
ることが難しい橋の裏
側なども、ドローンが
入り込んで点検するこ

とができ、参加者は有
用性を確かめた。

各務原大橋は二〇一
三年に完成し、長さは
五百九十四メートル。点検に
は長大な足場を組む必
要があり、橋梁用の点
検車両でも作業しづら
い箇所があるという。

橋の点検は現在、目
視による調査が義務づ
けられており、ドロー
ンを使った点検はまだ
認められていない。そ
れでも、参加した岐阜
大工学部の六郷恵哲特
任教授（維持管理工
学）は「どの装置も、
近く実用化できる水準
だと確認できた」と話
した。
(宮崎正嗣)